



西念寺だより 文月号



令和2年7月10日

〒610-0331 京田辺市田辺北里29番地

TEL 0774-62-1027 0774-63-2912

今年もお盆が近づいて参りました

盆は嬉しや 別れた人も 晴れてこの世に あいにくる

今年早くからコロナウイルスの感染拡大により、何よりも人と人との接触を避けることが求められ、様々な社会活動が制限された結果、私達の生活を一変させました。漸く様々な制限措置は解除されましたが、都市部では現在も新規感染者の増加も伝えられ、まだまだ安心して生活できると言うにはほど遠い感があります。



この間、様々な行事が中止や延期に追い込まれ、当山でも春彼岸法要は住職と副住職のみで行い、佛教婦人会写経会や華道教室は止むなく中止させていただきました。

今後のお盆の各行事の対応につきましては、裏面に記載させていただいておりますので、御一読くださいますようお願い申し上げます。

さて、間もなくお盆を迎えます。お盆とはインドの言葉で「ウンバナ」といい、孟蘭盆と音写され、「さかさに吊るされる苦しみ」との意で、その苦しみを救う方法が『孟蘭盆経』に説かれています。



お釈迦さまの弟子に、目連尊者といわれる神通力をもった方がおられ、ある日神通力をもって先に亡くなられた母親が、あの世でどうなされているのかご覧になられました。すると餓鬼道に落ち苦しんでおられました。そこで、お釈迦さまに救う方法を尋ねたところ、他人には施すことがなかった罪で餓鬼道で苦しんでいるとされ、7月15日に多くのお坊さんが修行されるので、百味の飲食を供養すれば、その功德で母親を救うことができること教えられました。そこでその通りにされると、母親がたちまちに救われたとの経説により、7月15日(旧暦8月)を中心にお盆の行事が行われるようになりました。

亡き父母やご先祖が苦しみを受けているようならば、何とか救いたいとの願いから生まれた行事がお盆の始まりであり、先にお浄土へ往かれた祖先を我家に迎え、再びお浄土へ還っていただくという亡き人と一年に一度親しく語り、孝を尽くす精霊行事です。

また、お盆は生まれ難き人間として生まれた私たちの生命を考える日でもあります。父母を縁として受けた私の生命ですが、2人の親には4人の祖父母、8人の曾祖父母がおられ、倍々していくと数えきれないご先祖の生命を受け継いでいることに気づかされます。漢字の恩という字は、原因の因の下に心と書くように、数えきれない多くの先祖(無量寿)が生命の因となることを心に受けとめる姿を示しています。

父母をはじめご先祖のご恩を「おかげさま」と受けとる姿が報恩感謝の合掌の姿であり、阿弥陀仏の名を呼ばしめる喜びの声がお念仏です。

生きていくということは誰かに借りをつくること

生きてゆくということはその借りを返してゆくこと

(永忠順：寿徳山最尊寺住職、永六輔氏の父)

精霊棚にお帰りいただいたご先祖さまには、多くの恩がございます。その恩に報いる絶好の機会と受けとめ、香華灯や茶湯、百味の飲食で心のこもったご供養をすることで私たちもまた、清き安らぎのある家庭へと導かれて行くように思います。 **裏面に続く**



【本年度お盆行事について】

今年には新型コロナウイルスの感染予防のため、以下のように変更実施させていただきます。

なお、8月時点で感染拡大等の変化があった場合は、皆様方の安全安心に配慮した対応に変更させていただくこともあろうかと存じます。何卒御理解御協力の程、宜しくお申し上げます。

- ・ **境内お墓参り**
 - ・ 例年どおり、5日(水)～7日(金)まで行います。
 - ・ 本堂内では、マスクとアルコール消毒液の使用をお願いします。
 - ・ お墓参りをお済ませいただき、本堂内で御回向申し上げます。
 - ・ 回向終了後、お茶を差し上げたいと思っておりますが、感染予防のため、使い捨てカップを使用させていただきます。
- ・ **精霊迎え十日盆**
 - ・ 従来どおりの方法で実施させていただきますが、本堂入堂前にアルコール消毒液の使用とマスクの着用をお願いします。
 - ・ 卒塔婆を書かせていただくところは透明ビニール等で飛沫感染予防いたします。またお待ちいただく椅子も従来より広く配置します。
 - ・ お参りされず、FAXや郵送等での受付もさせていただきます。
 - ・ 迎え鐘を撞いていただく際は、消毒液の使用をお願いします。
 - ・ これまで田辺朗寿会様の御協力で、参拝者の方々にかき氷の接待をお願いしておりましたが、今回は中止させていただきます。
 - ・ なお、朝顔展は従来どおり開催させていただきます。
- ・ **棚 経**
 - ・ 従来どおりの方法で実施させていただきますが、マスクを着用してお伺いし、読経中はマスクを外させていただきます。
 - ・ 誠に勝手ながら、お茶等の御接待は、昨今の諸事情から今回は遠慮させていただきます。
 - ・ 感染の状況により、玄関前で回向させていただくこともございます。(京都市内ではこの方法で実施されるお寺も多いと聞いています)
- ・ **地藏盆、祠堂施餓鬼**
 - ・ 今回は、住職のみで実施させていただきます。

永代祠堂寄進の皆様には申し訳ありませんが御了承の程、お願い申し上げます。

以上が主な概要ですが、御不明な点や御希望御意見等がございましたら、お寺まで御連絡お願い申し上げます。



【院号料御寄進のお知らせ】

今回、下記の方より院号(什器什物基金)料の御寄進をいただきました。誠に有り難うございました。御寄進いただきました方の御芳名は本堂内にも掲出しております。

- ・ 院号(什器什物)料 金35万円 為 慈徳院円普浄光和信大姉(故大崎佐和子様)
施主 大崎 宏 様

【祝聖文写経納経寄進のお知らせ】

先月お届けいたしました文書で、新型コロナウイルスによる疫病終息を願う写経をお願いいたしましたところ、下記の方々から写経寄進いただきました。

早速浄土宗文化局を經由して東京芝の増上寺にて平癒祈願の後、納経いただきました。

下村 新一 様	菱田 嘉明 様	菱田 孝子 様
園田 球磨彦 様	豊田 三枝子 様	斉藤 久子 様
寸田 千加子 様		(順不同)

【春彼岸回向寄進者名不備のお詫び】

先月お届けいたしました春彼岸回向寄進者一覧の中で、下記2名の方々の御芳名が抜け落ちていました。誠に申し訳ありませんでした。深くお詫び申し上げます。

南 喬志 様	北川 公子 様	(順不同)
--------	---------	-------